



埼玉会誕生の経緯

高橋 淳 (坂戸市)



今から3代前の理事長西江博俊氏が日退協の改革の一環として、イベント活動を本部中心から地方主体に移行すべきだと方針を持っておられた。

平成16年春神奈川会が発足し、第2弾として埼玉会設立の要請が強かった。江戸・東京歴史散歩の会の世話人の鈴木裕史氏と一緒に、それまで面識のなかった岩渕氏、芝山氏、関根氏、日高氏等と会ってまとめて欲しいと半ば強制的に指示命令された。(なぜ私が指名されたのか今もってわからないのだが)。平成21年8月11日、池袋の某居酒屋に集合することにした。残念なことに当日鈴木氏は病氣入院し欠席され、本当に初めてお会いする人ばかり。

ご存じのように各氏とも個性的な方々である。雑談しながら皆さんのお人柄をみて、関根さんに代表になって頂くことを提案し決定した。その後の関根会長のご指導ぶりを見ても適切な人選であったと自賛している。後は会の運営要領書を作り、設立発起人に折田さん、戸田氏(故人)、平松氏にもお願いし、平成21年10月22日15時築地の本部会議室で、西江理事長のご参加を得て、無事「埼玉会」が発足した。

埼玉会イベントのご案内

イベント幹事: 地畑 健吉

今後のイベント予定は次のとおりです。イベントごとに詳細なご案内を致します。

「参加」希望者は次のページ巻末の事務局まで①e-mail または②FAXでお申込みください。

- 1. H28.11.14(月) 「第20回埼玉会ゴルフコンペ」 於: 武蔵 OGM
- 2. H28.11.24(木) バスでゆく「JAXA 筑波宇宙センター見学」 (第30回)
- 3. H29.1.11(水) 初詣「与野七福神巡り」・新年会
- 4. H29.2.8(水) 予備日 2.10(金)「鉄道博物館 & JR 東日本大宮総合車両センター見学」 (第31回)

個人会員増強運動

幹事: 関谷 一郎

平成28年度も半分が過ぎましたが、8月末の埼玉会新入会員数は3名です。目標は20名なので低調です。これからのイベントをお知り合いにもお話し、ご一緒にご参加くださるようお願いいたします。JARPのパンフレットがリニューアルされました。次回マチュリティニュース送付時に同封しみなさまのお手元に届きますので、ご一読いただき、入会勧誘にご活用ください。年齢・性別、現役・退職者を問わず、どなたでも入会できます。入会については、事務局までご連絡ください。ご本人に直接、資料をお送りします。

「県内初出の三角縁神獸鏡」 古墳跡 No. 5

高川 博 (浦和区)

2011年10月に埼玉県で初めての三角縁神獸鏡が発見されました。場所は東松山市の高坂神社境内です。付近の高坂古墳群の発掘調査に当たっていた調査員が境内の地面から露出していた破片に気づいたのが発端となりました。卑弥呼が貰った鏡ではないか、との説もあり何かと話題を呼んでいる三角縁神獸鏡ですが、全国から560枚出ているのにも関わらず、本県では見つかっていませんでした。この発見により関東では東京・栃木と同じゼロ組から脱出できたのです。この鏡は、その銘文から「陳氏作四神二獸鏡」に分類されるものですが、今のところ同じ模様の鏡は見つかっていません。また出土した土地は古墳とは見られないことから、隣接する古墳との関係も色々取沙汰されています。これらの古墳が造られたのは4世紀の中葉から後半とされていますので、この鏡も同時期の副葬か埋納ではないか、と見られます。そうしますと、行田の「さきたま古墳群」が造られ始めるのが5世紀の後半ですから、その100年位前には東松山の比企東部地域に勢力を持った有力集団が居たことが窺われるのです。(おわり)



秩父秋の七草寺巡りに参加して

倉片 隆 (川口市)



秋の訪れを伝えてくれる長瀬七草寺巡りに癒しを求め参加させていただきました。

まず、撫子の不動寺から参拝し、寺の裏山一面に赤萩、白萩がある洞昌院、次の遍照寺では葛の花。小生は初めてだったので、寺の人にたずねると「葛棚に穂状花序が立ちあがって、赤紫の花がついているそれが葛の花です」と教えてもらいました。桔梗の多宝寺、真性寺では女郎花が元気よくたくさん咲いていました。6番目は藤袴の法善寺、最終の道光寺では、まるで狐の尻尾のように大きくフサフサした尾花があり、写真を撮るのに夢中になりました。また、趣味で集めているご朱印は、どのお寺も達筆で素晴らしいものでした。最終のお寺では記念品まで頂戴いたしました。

朝の雨からは想像できない位の散策日和となり、帰りのバスの中の懇親会も盛り上がり楽しく有意義な一日を過ごすことが出来ました。

≪埼玉俳壇≫

声を出し絵本読む子の星月夜

地畑朝子

花言葉

藤袴



壺 (ペンネーム)

花言葉は「優しい思い出」といった過去を思い返す言葉が使われています。秋の野を彩る花として欠かせない風情があります。

『万葉集』（秋野の花を詠む歌）山上憶良の「萩の花尾花葛花なでしこの花をみなへしまた藤袴朝顔の花」が秋の七草の由来となったと云われています。今年の9月の七草めぐりイベントでは咲いておらず残念でした。

わが街の自慢

与野・我が町の自慢

田中 英司 (さいたま市)

私の生まれは群馬で、5才の時大宮市（現在の太宮区）に来て、その後、与野に居住し35年ほどが過ぎ、「我が町」となった与野の自慢はなんだろうと思い考えてみました。



与野は、江戸の時代から脇往還の宿場として栄え、今でも蔵づくりの家が点在していて、一説では川越の蔵づくりのモデルになったと言われています。又、伝統行事や文化財も多く現存しています。与野夏祭りや一山神社の冬至祭り、大戸の神楽など古くからの伝統行事や鎌倉時代と伝えられる庚申塔、国登録文化財の二木屋などの文化財も沢山残っています。

与野は、小さな町ですが住みやすい町です。それは、貝塚や有名無名の古墳、住居跡などの遺跡が発見発掘されている事でも、大昔から住みやすい土地であった事が想像できます。

近年ではインフラ整備も進み、公共交通や生活インフラも充実して来ています。文化面も昔からの伝統行事に加え、七福神祭りやバラ祭りなど新しいイベントも沢山でき定着しています。

長い歴史と今が融合して新しい町になっていく、それが、我が町与野の一番の自慢だと思います。

埼玉会にはこんな人材も

平林 恵子氏 (さいたま市在住)

今回は、私がこの数年趣味の一つとして楽しんでできました社交ダンスの先生を紹介します。

日退協の会員にラテン、スタンダードA級の舞踊家「平林恵子先生」がいらっしゃいます。中高年を中心に子供から80代まで多くの生徒を抱え、ご自身のスタジオや公民館などで幅広く活動していらっしゃいます。



近年、テレビ等で認知症の予防、治療に効果が実証された「社交ダンス」。魅力は認知機能を高める＜運動＞と＜知的活動＞が同時に識するということがとても脳に良い刺激を与えるそうです。

高齢化社会の救世主となるのではとされる社交ダンス、是非興味のある方は一度教室を覗いてみてください。

(紹介者) 中川 洋子

埼玉会第19回ゴルフコンペ

優勝者 島山 忠昭

埼玉会第19回ゴルフコンペ、ハンディキャップ制になって9回目に優勝できた。

最盛期220ヤードは飛んだドライバーも73歳の今は190ヤードが精いっぱいミドルホールで殆どでパーオンできない。昔は苦しなかった(?)50ヤード以内のアプローチもまったくの苦手となった。

この日はなぜかドライバーの曲がりなくアプローチミスも特になく、パターは31でバーディーまで取れた。上がってみれば当コース最高のスコアであった。

月並みながら、平松、薄井、内田各氏という素晴らしい同伴者とご一緒し、快適なゴルフ日和に恵まれ楽しくプレー出来



たお蔭と思う。ゴルフは楽しくリラックスしてやるのが最高と改めて感じた1日だった。

ワンコイン運動のご報告

埼玉会事務局

埼玉会の各種イベントやゴルフコンペの際に集まったワンコイン募金40千円を8月2日(火)に関根代表幹事、島山事務局長が社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会を訪問、「ひまわり基金」に寄付いたしました。

この「ひまわり基金」は県内の各種社会福祉事業推進のため複数の団体に配分活用されており、皆さまの善意が有効に活かされており、引き続き埼玉会の活動とともにワンコイン運動の継続が望まれます。ご協力ありがとうございました。



石川副会長よりの「感謝状」贈呈式

「事務局からのお知らせ」

1. 今年度の新入会員目標20名。現在3名+他地域会へ紹介6名。お知り合いの方をお誘いください。
2. 「私の大切な覚書(エンディングノート)」抜版にご協力下さい。
3. 第6号から始まった「埼玉県の古墳」シリーズも第5回の今回で終了しました。高川博会員の歴史に対する造詣の深さに敬意を表し、心から感謝申し上げます。

発行者 公益社団法人 日本産業退職者協会・埼玉会

代表幹事 関根 貞夫
事務局長 島山 忠昭

事務局 〒332-0031 川口市青木1-22-17-902

TEL&FAX 048-259-5917

e-mail jarp_saitama@yahoo.co.jp